

よんでネット

<小学3・4年生>



[NO.22~NO.41]

よんでネットとは…

茅ヶ崎市立図書館では、ボランティアの協力を得て、各年代にあわせた本を季節ごとに紹介しています。それが「よんでネット」です。

図書館本館ではよんでネットコーナーがあり、その季節のリストに掲載された本を置いてあります。今までに紹介された本は、背表紙に「よ」というシールが貼ってあります。シールの色は、春：緑、夏：青、秋：オレンジ、冬：紫と季節ごとに分けてあります。もし本棚で見つけたらぜひ手にとって読んでください。

～協力ボランティアの紹介～

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会

平成13年度の「読み聞かせ講習会」の講師、スタッフが集まり、すべての子どもたちが喜びの中で育ってくれることを願って会を結成。図書館、小学校、学童保育等で読み聞かせ活動を行っています。

小学生・中学生・高校生向けにおすすめ本を紹介する「よんでネット」を季節ごとに発行しています。

もくじ

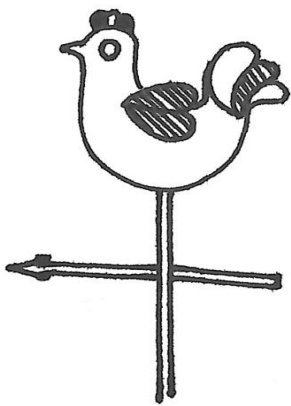
えほん

むかしばなし	1ページ
ものがたり	3ページ
し・ことば	8ページ
ちしきのほん	10ページ

よみもの

むかしばなし	14ページ
ものがたり（にほん）	16ページ
ものがたり（がいこく）	20ページ
し・ことば	26ページ
ちしきのほん	27ページ

※NO. 22（2007年）～NO. 41（2011年）までに掲載されたものを、それぞれのジャンルごとにまとめて紹介しています。



★えほん…むかしばなし★

1	1 つぶのおこめ	デミ／作 さくまゆみこ／訳
<p>ラーニという女の子が 王さまからごほうびにお米をもらうことになりました。今日は1つぶ、明日は2つぶ、あさっては4つぶ、その次は8つぶ・・・ということで、30日の間、それぞれの前の日の倍の数だけもらうやくそくをしました。さて、30日後にはいったい何つぶのお米をもらえるのでしょうか？インドの算数のむかしばなしです。</p>		<p>光村教育図書 E 2010年 秋</p>
2	きつねにようぼう	長谷川摂子／再話 片山健／絵
<p>昔、ひとりものの男の前に、よめにしてほしいというわかい女があらわれた。二人は夫婦になり、むすこも生まれた。ある日かかは、つばきの花のあまりの美しさにみとれ、しらずにしっぽを出してしまった。むすこに見られて、きつねの正体を知られたかかは、山へかえっていった。ところが、あしたは田うえという日に…。</p>		<p>福音館書店 E 2007年 秋</p>
3	しあわせの石のスープ	ジョン・J・ミューズ／作・絵 三木卓／訳
<p>中国のおはなしです。人をしんじられないでただ自分にとじこもっている村人たち。その人たちに旅のお坊さん達が石でスープをつくります。そんなふしぎなことに女の子が手伝い。村人も一人、二人と食物を持ってきて、おなべの中へ入れます。いいにおいができてみんなもにこにこ…夜おそくまでおいわいをしました。</p>		<p>フレーベル館 E 2007年 冬</p>
4	ディック・ウィットントンとねこ イギリスの昔話	マーシャ・ブラウン／さいわ・え まつおかきょうこ／やく
<p>ディックは貧乏で、お父さんもお母さんもいません。ある日、くつみがきのおだちんでもらった1ペニーで女の子からねこを買いました。自分のねるへやに出るねずみをとらせようと思ったのです。しかし、このねこがディックにはこんだしあわせはそれだけではありませんでした。のちにディックはロンドン市長にえらばれることになるのですから…。</p>		<p>アリス館 E 2008年 夏</p>

5 ほしになつたりゅうのきば	君島久子／再話 赤羽末吉／画
むかし二ひきの大きなりゅうがけんかをして、天にぶつかり、天をやぶってしまった。天のさけめから、石のようにふってくる雨やひょう。草も木もかれ、生きものは死んでいった。大きな石から生まれたサンは、クマ王のすえむすめ白ひめとともに、天のさけめをつくろうためにひつじのせなかにのって、とびたつた。中国に伝わるお話です。	福音館書店
	E
	2007年 夏



★えほん…ものがたり★

1 おうさまとかじや	ジェイコブ・ブランク／文 ルイス・スロボドキン／絵 八木田宣子／訳	
8さいの王さまには、たくさんのお大臣がいました。テーブル大臣、お風呂大臣、まど大臣……。みんな王さまがやることをきめて、お世話をしてくれますが、王さまはあんまり楽しくありません。そんなある日、王さまの大切なかんむりがカラスにぬすまれて、ひとりのかじやがよばれました。いったいどうなるのでしょうか？		徳間書店
		E
		2011年 夏
2 かあさんのいす	ベラB.ウィリアムズ／作・絵 佐野洋子／訳	
わたしとかあさんとおばあちゃんは、大きなびんにお金をためています。びんがいっぱいになったら、いすを買いにいくのです。すごくふわふわで、すごく大きいバラのもよりのついている、世界でいちばんすてきないすをかうのです。だって、うちには、ゆっくりすわれるいすがありません。火事でやけちゃったからです。		あかね書房
		E
		2007年 冬
3 木	佐藤忠良／画 木島始／文	
大きな木は、何を考えているのかな。大きな木を絵にかくと、木はいろいろなはなしをしてくれる。空が大好きな大きな木、がまんのうたをうたう木のこぶこぶ。生まれたてのわかばたちのおしゃべり。さあ、大きな木を目でさわってごらん。君にも木のうたがきこえてくるよ。		福音館書店
		E
		2008年 春
4 クリスマスのおはなし	ジェーン・レイ／絵と文 奥泉光／訳	
クリスマスって、なんの日か知っていますか？そうです、イエス・キリストのたんじょうをお祝いする日です。いちばんはじめのクリスマスーそれは、うまやのなかでおさな子・イエスがうまれた日。聖書のなかにえがかれた、クリスマスのふしぎな物語が、わかりやすい文と美しい絵で語られています。		徳間書店
		E
		2008年 冬

5 こうしはそりにのって	A・リンドグレーン／作 M・テークヴィスト／絵 今井冬美／訳	
ヨハンの家はますしい農家です。きのうたった一頭しかいないいめ牛が死んでしまいました。ヨハンが大好きだった牛です。でも、一番つらいのは、お父さんとお母さんが、これからどうしたらよいかと悲しんでいることでした。そんな時ヨハンが雪かきをしているとなんと道ばたにふくろに入ったこうしがおちていたんです！神さまからのプレゼントだとヨハンはよろこびましたが・・・。		金の星社
		E
		2009年 冬
6 皇帝にもらった花のたね	デミ／作・絵 武本佳奈絵／訳	
むかし花をあいする皇帝が、花の力をかりてよつぎをえらぶことにしました。皇帝は国じゅうの子どもに花のたねをわたし、1年後に見せにくるようにといいました。花のすきなピンもたねをまきました。ところが、どんなにせわをしてもたねからめができません。とうとう、きゅうでんに行く日になりました。		徳間書店
		E
		2011年 春
7 さとうねずみのケーキ	ジーン・ジオン／ぶん わたなべしげお／やく マーガレット・ブロイ・グレアム／絵	
ある日おしろであたらしいりょうりちょうをきめる、ケーキコンテストがひらかれることになりました。そこでみならいコックのトムも、よどおしかけて「さとうねずみのケーキ」を作りました。でもケーキのねずみがこわれ、ともだちねずみのティナをかわりにのせたら、そこへ王さまのねこがやってきて・・・。		アリス館
		E
		2008年 春
8 シモンのおとしもの	バーバラ・マクリントック／作 福本友美子／訳	
うっかりやのシモンは、ものをなくしてばかり。今日も学校から帰るとちゅう、あちこちによりみちしてはおとしもの。“ねこの絵” “本” “マフラー” “てぶくろ” “クレヨン” …。いったいどこにおとしたの？みんながさがしてくれるけれど、なかなか見つかりません。あなたもシモンのおとしものをいっしょにさがしてね。		あすなろ書房
		E
		2011年 秋

9 空とぶじゅうたん	マーシャ・ブラウン／再話・絵 松岡享子／訳
<p>フセイン、アリ、アーマッドの3人の王子達は、王様の言いつけで、宝物を探しに遠い国へ旅にでました。この世で1番めずらしい宝物を持ち帰ったものが、愛らしいノア王女と結婚できるということです。一年がたち、王子達はそれぞれ「空とぶじゅうたん」「遠眼鏡」「魔法のりんご」をもって集まりました。さあ、王女と結婚できるのはどの王子でしょう。</p>	
アリス館	
E	
2009年 夏	
10 そんなこともあるかもね	アヴィ／作 マージョリー・プライスマン／絵 福本友美子／訳
<p>ちょっとふしぎで、でも「そんなこともあるかもね」と思ってしまうお話が9つ入っています。早くからっぽになりたいコップは、のどがかわいたゾウにどうやってお水を飲んでもらったのかな？使ってもらえなくて悲しい黒いクレヨンは、女の子にどんなお願いをしたのかな？わくわくする楽しい絵がお話にぴったりです。</p>	
フレーベル館	
E	
2009年 秋	
11 チャンティクリアときつね	バーバラ・クーニー／文・絵 ひらのけいいち／訳
<p>チャンティクリアは鳴き声がじまんの美しいおんどりです。ずるがしこいきつねに声をほめられ、いい気になっていたらさあたいへん！つかまってしまいました。チャーサーという人が書いたイギリスの古いお話がもとになっています。</p>	
ほるぷ出版	
E	
2007年 秋	
12 野うさぎのフルー	リダ・フォシュ／文 フェードル・ロジャンコフスキー／絵 いしいももこ／訳編
<p>野うさぎのフルーは、ひとりぼっち。おとうさんはきつねに食べられ、いもうとは、ふくろうにさらわれ、おかあさんはどこかにいってしまったからです。でも、だいじょうぶ！フルーには、かみさまからもらった三つのおくりもの―“かくれみの” “魔法の耳” “七里ぐつ” があるのです。 *図書館には、同じお話で福音館から出ている本もあります。(953フ)</p>	
童話館出版	
E	
2011年 春	

13 はなのすきなうし	マンロー・リーフ／おはなし ロバート・ローソン／え 光吉夏弥／やく	
むかし、スペインにふえるじなんどというはなのすきなうしがいました。あるひ ふえるじなんどは、しらずにくまんばちのうえにこしをおろしてさされてしまい、あまりのいたさにとびあがりあたまをふりたてあばれまわりました。それをみたおとこたちは「これこそだいとうぎゅうにもってこいのうしだ！」とって、ふえるじなんどをマドリードへつれていってしまいますが・・・		岩波書店
		E
		2009年 春
14 ポインセチアはまほうの花	ジョアンヌ・オッペンハイム／文 ファビアン・ネグリン／絵 宇野和美／訳	
なぜ、ポインセチアは「クリスマスの花」なのでしょう？クリスマスにまつわる、奇跡のお話です。メキシコの女の子ファニータは、家が貧しくて、イエス様におそなえする物がなにもありません。悲しむファニータの耳に、天使の声がかきこえてきました。「この葉をつんで、もっておきなさい」と。それは雑草にしかみえなかったのですが…		光村教育図書
		E
		2011年 冬
15 まあ、なんてこと！	デイビット・スモール／作 藤本朝巳／訳	
ねえ、信じられる？朝、目をさましたら、頭にヘラジカのツノがはえていたの！ママはびっくりしてたおれちゃった。でも、このツノけっこう便利。ふきんをかけてかわかしたりドーナツをひっかけたら小鳥が集まってきたり、たのしかった！でもつぎの朝目をさましたら・・・まあ、なんてこと！		平凡社
		E
		2008年 秋
16 むこうがわのあのこ	ジャクリーン・ウッドソン／文 E.B.ルイス／絵 さくまゆみこ／訳	
わたしの住んでいるまちには、黒人と白人の住むところをしきるさくがある。むこうがわに行ってはいけない。ある夏、そのさくのところに白人の女の子があらわれた。女の子は毎日じっとこちらを見ている。わたしはなぜだかとても気になった。ある日、わたしたちがなわとびをしていると、「いれて」とあのこがいった。		光村教育図書
		E
		2011年 夏

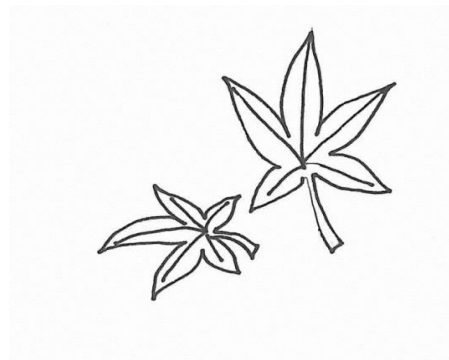
17 ムースの大だいこ	秋野和子／再話 秋野亥左牟／画
アメリカ大陸の北、氷の平原にすんでいるインディアンのおはなしです。ある冬、いぶきが続いて、えものがとれなくなってしまいました。食べ物がなくなり、こまった首長たちは森のメディシンマンに相談しました。「ムースの大だいこにきいてみよう」馬よりも大きなしか、ムースの皮をはったたいこを、メディシンマンが打ちはじめると……。	福音館書店
	E
	2010年 冬
18 りすのパナシ	リダ・フォシェ／文 フェードル・ロジャンフコスキー／絵 石井桃子／訳
りすのキックとルケットに、赤んぼうが四ひきうまれました。パナシ、フォレ、ルタン、フラムです。四ひきともすばらしい赤毛でした。ふた月がたち、じゆうに森をかけまわってよいことになる、いたずらぼうずのパナシは、なにもかもめずらしくって、おそくまでうちにかえりません。 ある日の午後、パナシは人間の子どもにつかまって……。あー、パナシは、またかぞくのみんなにあえるのでしょうか。	童話館出版
	E
	2010年 春
19 わにのスワニー しまぶくろさんとあそぶの巻	中川ひろたか／作 あべ弘士／絵
ぼくはわにのスワニー。ぼくの友だち、しまぶくろのしまぶくろさんはほんとにおもしろいんだ。電話でかくれんぼしたり、自分がお届けものになっちゃったり……。しまぶくろさんは、すごいおじさんだけど、ぼくよりも子どもなのかもね。	講談社
	E
	2009年 春



★えほん…し・ことは★

1	声にだすことはえほん おっと合点承知之助 齋藤孝／文 つちだのぶこ／絵
「ドッジボールしよう！」ってさそわれたら、今日からは「おっとかってんしょうちのすけ！」ともだちが100点取ったら「すごい！」なんて言わないで、「おそれいりやのきしぼじん」日本にはこんなふうに声に出してみるとおもしろくてなんだか元気が出てくることはがいっぱいある。さあ、大きな声で言ってみよう。 『声にだすことはえほん』シリーズに「生麦生米生卵」「がまの油」などがあります。	ほるぷ出版 E 2007年 夏
2	ことわざのえほん 続ことわざのえほん 西本鶏介／編・文 高部晴市／絵
ちからもちの鬼が金棒をもったら、ますます強くなって、だれもかてません。安心なほどに強くなることを「鬼に金棒」といいます。「猿も木から落ちる」や「すすめの涙」など、いろいろなことわざのつかいかたがわかります。この本をよめば、ことわざについては「鬼に金棒」です。	すずき出版 E 2010年 冬
3	パイがいっぱい 和田誠
「アはアップルパイ カはかぼちゃのパイ サはさくらんぼのパイ」夕は・・・何のパイ？この本には10のことば遊びの詩が並んでいます。「おどろき もものき さんしょのき」って、きのつくことはが30も出てくる詩。2文字でつなげるどうぶつしりとり。声に出すともっと楽しめますよ。	文化出版局 E 2008年 秋
4	まどさんとさかたさんのことばあそび かみやしん／え
さかたさんが「そくだむらのそんちょうさんがソーダのんでしんだ そうだとみんながいうのはウッソーだって」と言えばまどさんは、「しらんかしらんが おれシラン」だって。まどさんが「カニはカニ？カニツとカニ？」って聞いているよ。さあ、あなたならなんと言う？ まどさんとさかたさんのなかまになって、「ことばあそび」をたのしんでみてね。	小峰書店 E 2010年 春

5 魔法のことば	柚木沙弥郎／絵 金関寿夫／訳
——ずっとずっと大昔 人と動物がともにこの世にすんでいたときみんながおなじことばをしゃべっていた。そのときことばはみな魔法のことばで人はしたいことをただ口にだしていえばよかった。世界はただそういうふうになっていたのだ。——エスキモーの人々が大切に伝えてきた詩に力強い絵がついて本になりました。	福音館書店
	E
	2010年 夏



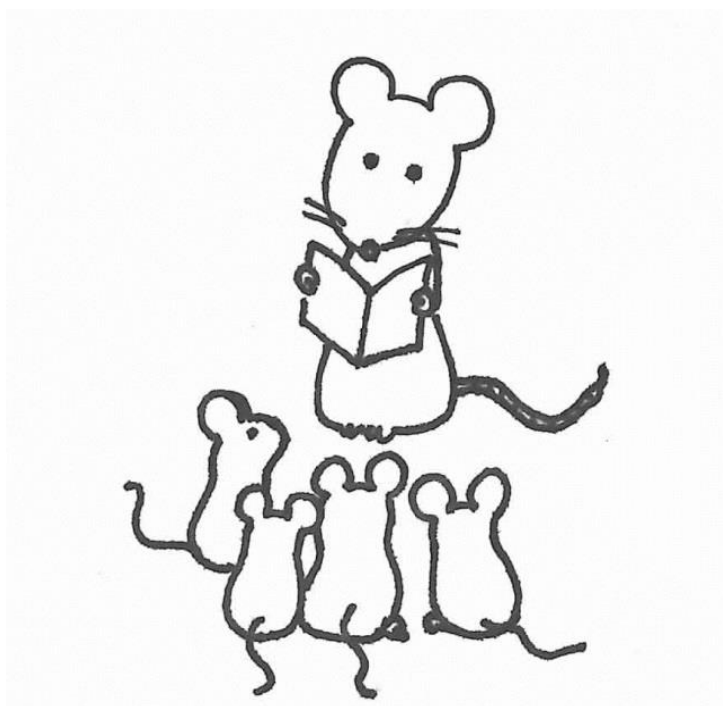
★えほん…ちしきのほん★

1	1ねん1くみの1にち	川島敏生／写真・文
<p>ねえ、1年生のころのこと おぼえてる？だれといっしょに学校へ行ってたかなあ？楽しみだった授業は？にがてだったことは？休み時間はなにをしてあそんでたかなあ？給食は全部食べられたっけ？体そう着に着がえるのにてまどってなかった？この本の1ねん1くみをのぞいたらそんないろいろなこと思い出すかもしれないよ。</p>		アリス館 E 2011年 春
2	海をかえして！	丘修三・長野ヒデ子・あさり しおまねき・むつごろう
<p>ドドドドッ！ものすごい音と地ひびきをあげて、大きな黒い鉄板がつつぎつつぎに海につき立てられ、干潟に海の水がこなくなりしました。ムツゴロウやシオマネキそしてあさり、たくさんの生き物が死にました。今から10年前、長崎県の諫早湾の干潟はこうしてなくなりました。人間の都合だけでこわされていく自然。“海をかえして！”と叫ぶ生き物たちの声を聞いてください。</p>		童心社 E 2007年 夏
3	がぶりもぐもぐ！	ミック・マニングと ブリタ・グランストローム／作 藤田千枝／訳
<p>土の中から小さなめがでてきたよ。その小さなめをもぐもぐたべるのはイモムシ。イモムシを食べるのはキリギリス。キリギリスを食べるのはクモ。クモはトカゲに、トカゲはフクロウに。いきものはすべて、たべたり、たべられたりしながらつながっている。</p>		岩波書店 E 2009年 秋
4	せんをたどって せかいいっしゅう	ローラ・ユンクヴィスト／さく ふしみみさを／やく
<p>ひとふでがきのせんをたどって、たびにでよう。あつい国、さむい国、さばくの国、みどりの国……。地球のいろんなばしょでくらす、さまざまなどうぶつたち。シロクマのひふはなにいろ？せかいでいちばんさむいところはどこ？どうしてラクダのまつげはながいの？かけがえのないうつくしい星、地球のことをながめてみよう。</p>		講談社 E 2009年 春

5 ソルビム -お正月の晴れ着-	ペ・ヒョンジュ／絵と文 ピョン・キジャ／訳	
お正月は新しい年の始まり。新しい日、新しい朝、何もかも新しく始まります。新しい年のはじまりは、新しい晴れ着でおいわいしましょう。おとなりの国、韓国でも、お正月には、ほら、赤、青、黄、緑・・・こんなに色あざやかな晴れ着「ソルビム」を着るんですね。じょうずに、一人で着られたら、もう一人前！		セーラー出版
		E
		2008年 冬
6 だいすきなもの	公文健太郎／写真	
「だいすきなものなあに？」って聞かれたら、きみは、なんて答える？ネパールの子どもたちの答え、ちょっとだけおしえてあげようか？「土がすき」「わたしは家」「おどること、うたうこと、勉強すること」本がすきっていった子は、先生になりたいんだって！「地面がすき」っていった子、どうしてかな？みんなの目がキラキラ輝いて、笑顔がいっぱいの写真絵本です。		偕成社
		E
		2011年 夏
7 タツノオトシゴ	クリス・バターワース／文 ジョン・ローレンス／絵 佐藤見果夢／訳	
タツノオトシゴって知ってる？ウマのような長い顔、サルのようなしっぽ、カンガルーのようなふくろ、え?! オスが赤ちゃんをうむ？とても魚に見えないけれど、れっきとした魚のなかまなんです。世界中に35種類以上もいるタツノオトシゴ、不思議な魅力がいっぱいです。		評論社
		E
		2010年 秋
8 日本の風景 松	ゆのきようこ／文 阿部伸二／絵	
白い砂浜に青々とした松がそびえている姿を、「白砂青松（はくしゃせいしょう）」といいます。海からの塩風や砂を防ぐために、松が選ばれ植えられました。また、長生きを表すおめでたい木とされ、お正月には門松をかざります。お習字に使われる墨も松の木からできています。松は、私たち日本人の暮らしにとっても身近な木なのです。		理論社
		E
		2008年 冬

9 野をわたる風にのる 植物のたび	アンネ・メッラー／文・絵 今泉みね子／訳
土にしっかりと根をはっている植物は、その場を動くことはできません。でも、野をわたり風にのってたびをします。どのようにして？風にのってとんでいくタンポポ。動物をタクシーにするゴボウ。ヘリコプターになってとんでいくカエデ…。	岩波書店
	E
	2007年 春
10 ヘイスタック	ボニー・ガイサート／文 アーサー・ガイサート／絵 久美沙織／訳
「ヘイスタック」を知っていますか？まきばの草を刈って、高々と積み上げたもののことです。かつては北アメリカの大平原(プレーリー)のあちこちに大きなヘイスタックがありました。ヘイスタックは牛や豚のえさとなり、風よけになり、あそび場になり、ねどこにもなります。干し草の食べ残しだってまきばじゅうにまけば、つぎにはえてくる草の養分となるのです。	BL出版
	E
	2009年 秋
11 干し柿	西村豊／写真・文
しぶ柿を知っていますか？見ためはふつうの柿と同じですが、食べてみたら…「うわぁ！へんな味！口の中がザラザラしているよ！」でもね、そのしぶ柿が、とても甘くておいしくなる方法があります。それは“干す”こと！この本にはきれいな柿の写真と一緒に干し柿の作り方がのっています。あなたも作ってみて！	あかね書房
	E
	2011年 秋
12 町の水族館 町の植物園	小林亜里／文 三柴啓子／絵
水族館や植物園に行きたいのに、遠くてなかなか行けないと思っている君！水族館や植物園は実はすぐ近くにあるんだよ。町のさかなやさん、やおやさんに行ってください。さかなは種類によって顔、形、目、歯、みーんな違う。なすにはとげがあるって知ってた？目の前でじっくり見ると発見がいっぱい！	福音館書店
	E
	2011年 秋

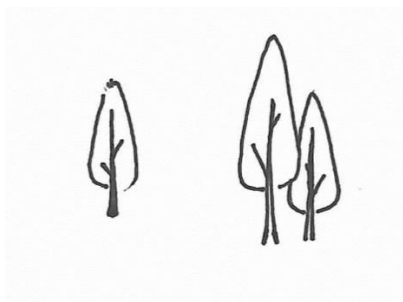
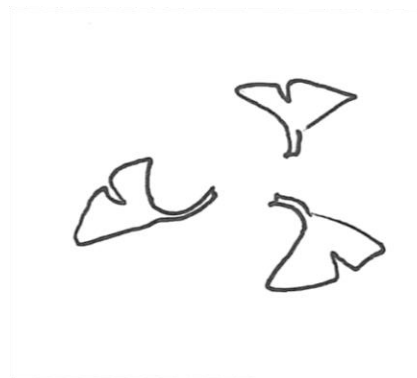
13 雪の結晶ノート	マック・カッシーノ、ジョン・ネルソン／作 千葉茂樹／訳
雪の結晶は、なぜこんなに美しいのでしょうか。まさに、自然がつくった「芸術」です。この美しい結晶は、どのようにしてできるのでしょうか？どうしてこんなかたちになるのでしょうか？これは、雪の結晶のふしぎをたくさんの写真とともに紹介した写真絵本です。めったにない、完全な結晶を見つけたいくなりますよ。	あすなろ書房
	E
	2010年 冬



★よみもの…むかしばなし★

1	デニス・ジョンソン・デイヴィーズ／再話 千葉茂樹／訳 ハグー・ハムディ・モハンメッド・ファトゥーフと ハーニ・エル・ザイード・アマハド／絵
「ある日、ロバを12頭買ったゴハおじさん、ロバにのって数えると11頭しかいません。あわてて、ロバからおりて数えなおすと、ちゃんと12頭います。おじさんは、ぼりぼり頭をかきました。」 遠い昔から、エジプトやアラブの人々に語られてきたお話が15話入っています。布をぬいあわせた色とりどりのさし絵も、ゆかいなお話にぴったりです。	徳間書店
	929 シ
	2010年 夏
2	白いりゅう 黒いりゅう 賈芝・孫劍冰／編 君島久子／訳
むかし「竜が淵（りゅうがふち）」に、村びとからたいそうおそれられている、一匹きの黒い竜がすんでいました。ある時、そこを通りかかった大工のヤン名人は、息子を淵の中へ引きずりこまれ、黒い竜と戦う決心をします。そこで、村びとたちと協力し、万年もたつふるい松の木で、一匹きの白い竜をほり始めたのです。この本には、ほかにも五つ、中国の昔話が入っています。	岩波書店
	923 ち
	2011年 冬
3	スウェーデンの森の昔話 アンナ・クララ・ティードホルム／編・絵 うらたあつこ／訳
むかし、スウェーデンの人々は大きな森にかこまれた小さな村にすんでいて、森の木で道具を作り、森で食べ物をさがしました。昔の森では、不思議なことがおこったので、人々はそんなおはなしを語りついできました。 この本には、「森の中にあつまる魔女のお話」「おそろしいトロールのお話」など、12のお話が収められています。	ラトルズ
	949 ス
	2009年 冬
4	トンボソのおひめさま -フランス系カナダ人のたのしいお話 バーボー、ホーヤンスキー／文 アーサー・プライス／絵 石井桃子／訳
王さまは亡くなる時、3人の王子に、まほうのさいふ、まほうのラッパ、まほうのベルトを残してくれました。 末の王子がまほうのベルトに「美しいトンボソのおひめさまのへやへ」とねがうと、もうりっぱなへやに立っていました。ところが、ひめにだまされまほうのベルトばかりかまほうのさいふやまほうのラッパまでとられてしまいます。 ほかにも「金の不死鳥」など5話入っています。	岩波書店
	933 バ
	2010年 秋

5 花仙人 中国の昔話	松岡享子／文 蔡皋／画
<p>今から千年近い昔、中国に秋先（しゅうせん）という名の老人がすんでいました。若いときから、花が大好きで花を育てるのがたいそう上手でした。そのため秋先の庭はみごとな花園で、なかでもひときわみごとなのがぼたんでした。そこへ、ならず者の張委（ちょうい）がやってきて、むりやり庭に入りこみ、ぼたんの花の前で酒もりをはじめてしまいます…。</p>	福音館書店
	923 ハ
	2010年 春



★よみもの…ものがたり（にほん）★

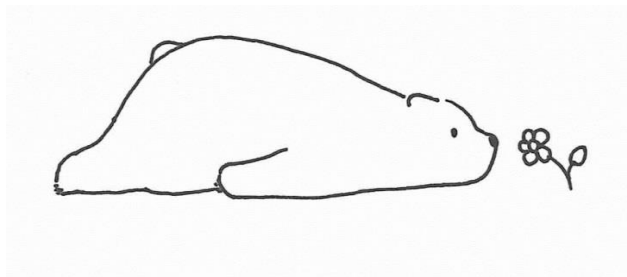
1	いえででんしゃ	あさのあつこ／作 佐藤真紀子／絵
<p>ママから「ムジツのツミ」でしかられたさくら子は家出した。えきのプラットフォームのイスにこしかけていたら、すごいボロのでんしゃが近づいてきた。理科室にある もけいのガイコツみたいなしやしゅうさんが言った。「家出する子は、みんな、のるんですよ。ただですよ」このでんしゃは《いえでででんしゃ》さくら子はこのでんしゃにのりました。</p>		<p>新日本出版社 913 ア 2011年 冬</p>
2	お父さんのラッパばなし	瀬田貞二／作 堀内誠一／画
<p>子どもたちは、お父さんのラッパばなしが大すき。ラッパとは、ほらのことです。晩ごはんのあと、子どもたちはきまってお父さんに「うんと大きいラッパふいてみて。」とさいそくします。お父さんが、世界めぐりをしながらおどろぼうをつかまえたり、海ぞくをたいじしたり…。さて、今日はどんなゆかいな冒険話がきけるかな？</p>		<p>福音館書店 913 セ 2011年 秋</p>
3	かりんちゃんと十五人のおひなさま	なかがわ ちひろ／作
<p>ひいおばあさんから かりんに、七段飾りの古いおひなさまが届きました。その夜、かりんはキッチンで三人官女に出会います。さそわれてひな壇（だん）のある部屋に行くと、十五人のおひなさまがおしゃべりをしたり、動きまわったり。おひなさまは鳥に姿を変え、かりんの友達のおひなさまとも行き来するうち、かりんはおひなさまの物語に気づいていきます。</p>		<p>偕成社 913 ナ 2010年 春</p>
4	キロコちゃんとみどりのくつ	たかどのほうこ／作・絵
<p>キロコちゃんが、古い小さなくつやさんでやっとみつけたおきにいりのくつ。それは、二つの大きな目玉と、真っ赤なベロがついたみどり色のくつでした。ところが、このくつは自分の行きたい方にかけてに歩いたり、音楽をきくとおどり出すし、さあ、たいへん。キロコちゃんは、学校のクラブでこのヘンテコなくつをはいておどることになります。さて・・・？</p>		<p>あかね書房 913 タ 2009年 冬</p>

5 グラタンおばあさんとまほうのアヒル	安房直子／作 いせひでこ／絵
<p>グラタンおばあさんのおさらには、エプロンをつけたアヒルの絵が ついていました。そのアヒルはふしぎなアヒルで、おしゃべりもす れば、歌も歌えます。エプロンのポケットからグラタンのざいりよ うも出してくれました。でも、おばあさんがアヒルにたよってばか りいるので、ある日アヒルは、おさらからぴょんととびだしまし た。「どこかにおもしろいところないかなあ」</p>	小峰書店
	913 ア
	2011年 冬
6 ケイゾウさんは四月がきれいです。	市川宣子／さく さとうあや／え
<p>ケイゾウさんはにわとりです。家はようちえんの庭にあります。ケ イゾウさんにはきれいなものがいっぱいあります。遠足もかけっこ もどんぐりもきれい。みなさんには楽しみなものばかりでしょう。 なぜでしょうねえ。この本を開いて教えてもらいましょうよ。きっ とケイゾウさんに会ってみたいと思うよ。</p>	福音館書店
	913 イ
	2007年 春
7 タイムチケット	藤江じゅん／作 上出慎也／画
<p>めずらしいキップを集めるのが、ぼくのしゅみ。どうしてもほしい のは昭和44年4月4日のキップ。でも、なかなか手にはいらな い。そんな時、ぼくはとんでもない物をひろったんだ。行きたい日 を書けば、その日に行かれる「タイムチケット」。ぼくは「昭和4 4年4月4日」と書いた！</p>	福音館書店
	913 フ
	2011年 春
8 小さな山神スズナ姫	富安陽子／作 飯野和好／絵
<p>山神のむすめ スズナ姫は あと三日で三百歳。 それなのに まだ小さいからといっていつもるす番ばかり。おこった スズナ姫はお父さんの山神に「スズナ山の木の葉をたった一日でそ めかえることができたなら、スズナ山をひとりでおさめてもよい」と やくそくさせました。 スズナ姫は〈天のスズシロ〉と名づけた雲にのり、いさんでスズナ 山に行きますが…。</p>	偕成社
	913 ト
	2011年 秋

<よみもの>

9	ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子／作 大島妙子／絵
ドングリ山のとっぺんに、やまんばあさんという山姥（やまんば）が住んでいました。年は、296歳。でも、オリンピック選手よりも元気で、プロレスラーよりも力持ち。やまんばあさんは、ここ100年ほど、ドングリ山から出たことはありませんでしたし、ドングリ山にかけてに入ってくるような人間もいませんでした。ところが……。		理論社 913 ト 2008年 秋
10	夏のとっぺん	横山充男／作 西村郁雄／絵
夏休み、ママはドイツへ木彫りの勉強に行くために、ゆうすけをおじいちゃんの山小屋「妙山荘」に行かせた。しぶしぶ出かけたゆうすけは、ついたその日から仕事をさせられて、くたくた……。 (ぜったいぜったいにげだしてやる) と心でつぶやいた。けれど、おじいちゃんが心をこめてはたらく姿や、自然の大きさ、すばらしさにふれていくうち、にゆうすけの気持ちは変わっていく。そして……。		佼成出版社 913 ヨ 2010年 夏
11	ピョンとオバケン	山中恒／作
ぼくは小幡健（おばたけん）。あだ名はオバケン。オバケが好きな小学四年生。おばあちゃんの家で夏休みに遊びに行った。そこで傘オバケと目ん玉こそうをひきつれた女の子の幽霊に出会った。ピョンという名前のその幽霊は、めっぽう元気でめっちゃめっちゃ怖い？！		理論社 913 ヤ 2007年 夏
12	古道具ほんなら堂 ～ちょっと不思議あり～	楠章子／作 日置由美子／画
もしあなたが「かげ」をふまれて、その「かげ」がやぶれてしまったら。もしあなたのなみだと交かんにあの世に連れていかれそうになったら。もし友だちが見えない友だちと楽しそうにあそんでいたら。その時は「ほんなら堂」に行ってみて！ 燈花（とうか）さんというおばあさんが力をかしてくれるはず。あっ、でも名のるのをわすれちゃだめだよ。		毎日新聞社 913 ク 2009年 秋

13	放課後の時間割	岡田淳	偕成社
<p>きみは学校ネズミを知っているかな？学校の天じょううらに住んでいて、二本足で歩き、人間のことばを話すんだ。それに仲間から語り伝えられたおもしろい話をたくさん知っている。ところが、ある日、ぼくの学校のメスネズミが火事で全部死んでしまい、残った学校ネズミはたった1ぴきだけに……。これは、毎週月曜日の放課後、ぼくが最後の学校ネズミから聞いたとびきりおもしろいお話だ。</p>		913 才	2008年 冬
14	またたびトラベル	茂市久美子／作 黒井健／絵	学研
<p>ひどくおんぼろなアパートの1階に、ちいさな旅行会社があります。「またたびトラベル」です。でもふつうの旅行会社ではないんです。たいていの場合、自分の望みとは違うところへ旅行することになります。有名な観光地には決していきません。興味がわいてきた？いっしょにのぞいてみましょうよ。「またたびトラベル」続編で「招福堂のまねきねこ」もあります。</p>		913 毛	2010年 春



★よみもの…ものがたり（がいこく）★

1 ありのフェルダ	オンドジェイ・セコラ／さく・え 関沢明子／やく
「ぼくは、ありのフェルダです。なんでも屋です。家もたてるし、修理もするし、配達もします。ご注文があればなんでもします。」首に赤いスカーフをまいて、背中につつみをしょって、ありのフェルダは、森の中を行ったり来たり。なにがあってもへこたれません。今から80年まえにチェコでうまれて、世界中の子どもたちに愛されてきたお話です。	福音館書店
	989 セ
	2009年 夏
2 おすのつぼにすんでいたおばあさん	ルーマー・ゴッデン／文 なかがわちひろ／訳・絵
昔、湖のそばに一人のおばあさんがすんでいました。おばあさんはびんぼうで、住んでいる家は「おすのつぼ」のように小さかったのですが、ねこのモルトといっしょに幸せにくらしていました。ところがある日、いのちをたすけたさかなに「願い事をかなえてやろう」と言われておばあさんは……。昔話を元にしたお話です。	徳間書店
	933 ゴ
	2011年 夏
3 おたよりください	K.スンド／作 A.セラーノ＝プネル／絵 木村由利子／訳
冬休み、8才のリンダは新聞こうこくで見た、同じ年のオルガに手紙を書きました。ところが、オルガは80才だったのです。いんさつミスで0がひとつおちていたのです。でも、そのおかげで、二人はおばあちゃんとまごというよりも、もっとすてきなペンフレンドになっていきました。手紙は、げんきとやさしさをくれました。そして、クリスマス……。	大日本図書
	949 ス
	2010年 冬
4 お手紙レッスン	D.J.ルーカス（サリー・グリンドリー）／作 トニー・ロス／絵 千葉茂樹／訳
マックスは、クリスマスにもらった本「でっかいいじめっこなんかこわくない」がとってもおもしろかったので、作者のルーカスさんに手紙を出します。ルーカスさんから楽しい返事が届き文通が始まります。2人の手紙のやり取りがそのままお話になっているので、マックスといっしょに返事を待っているような気持ちがしてきますよ。	あすなろ書房
	933 ル
	2007年 冬

5 きつねものがたり	ヨセフ・ラダ／さく・え うちだりさこ／やく	福音館書店
森ばんの家につれてこられた子ぎつねは、子どもたちにまい日、本を読んでもらっているうちに、人間のことばを話したり、字も書けるようになりました。ずるいけれどかしこいきつねくんは、つぎつぎにじけんをおこして、まわりの人をハラハラドキドキさせますが、領主さまにあった日に大変なことが……。でもそのおかげで、森ばんになれたのです。		989 ラ
		2010年 秋
6 気むずかしやの伯爵夫人	サリー・ガードナー／作・絵 村上利佳／訳	偕成社
ずっと家の中でくらししてきた人形たちが、ある日とつぜん、公園におきざりにされてしまいました。でも、気位の高い伯爵夫人は、自分がすてられたなんてぜったいにみとめません。どうしてもお屋敷に帰るといいはってみんなを困らせます。おまけに助けてくれたネズミのご夫婦にも失礼なことばかり。さて、伯爵夫人、無事にお屋敷へ帰ることができるでしょうか、それとも……。? 「公園の小さななかまたち」のシリーズ1巻目です。		933 ガ
		2008年 夏
7 黒ねこのおきゃくさま	ルース・エインズワース／作 荒このみ／訳 山内ふじ江／絵	福音館書店
寒い冬、ひとりのまずしいおじいさんは、土曜の夜にだけ食べられる肉とミルクとパンを楽しみに夜をむかえました。そこへやせ細ってふるえている黒ねこが迷いこんできました。おじいさんは、ねこを家に入れ、ミルクを分けてやりました。ところが、それをたいらげてもねこは満足しません。そこで、ミルクもパンも全部あげました。それでも満足しません。次にねこは肉をねだりました……。		933 エ
		2009年 冬
8 しずくの首飾り	ジョン・エイキン／作 猪熊葉子／訳	岩波書店
ローラが生まれた時、北風は雨つぶが3つついている<しずくの首飾り>をくれました。そして毎年たんじょうびには、北風が雨つぶをひとつずつとどけてくれました。この首飾りには、雨やかみなりからローラをまもってくれるふしぎな力があるのです。雨つぶが10こになると、雨をふらせることができるのですが、ローラは学校で<しずくの首飾り>をなくしてしまいました。		933 エ
		2010年 夏

<よみもの>

9 シャーロットのおくりもの	E.B.ホワイト／作 ガス・ウィリアムズ／絵 さくまゆみこ／訳
<p>農場でくらす子ぶたのウィルバーは、ある日、自分はハムにされると知って大さわぎ。「死にたくない!」と泣き叫びます。そんなウィルバーをたすけたのは、同じ納屋にすむクモのシャーロット。かしいシャーロットは、クモの巣に奇跡を起こして、ウィルバーの命を救い、とても有名なブタにしてくれました。その奇跡とは？</p>	
あすなろ書房	
933 ホ	
2008年 夏	
10 楽しいスケート遠足	ヒルダ・ファン・ストックム／作・絵 ふなとよし子／訳
<p>オランダの冬は、国じゅうの運河がこおります。ある日、エベルトのクラスはスケート遠足に行くことになりました。子どもたちは、大よろこび。いったことのない町まで、運河をすべっていくのです。こおった運河の上には、おやつを売っているお店もあります。ところが大へん! エベルトが氷のわれ目におこちた! 遠足はどうなる？</p>	
福音館書店	
933 フ	
2010年 冬	
11 なまけ者の王さまとかしい王女のお話	ミラ・ローベ／作 ズージ・ヴァイゲル／絵 佐々木田鶴子／訳
<p>ある国にとてなまけものの王さまがいました。王さまがすきなのは、食べることとねること、それに金貨を数えること。なにもかも家来にやってもらっていた王さまは、ふとりすぎてとうとう病気になるてしまいました。お医者さまにもなおせません。かしい王女ピンピは、羊飼いのおじいさんから病気をなおす方法を教えてもらいますが・・・。</p>	
徳間書店	
943 □	
2009年 春	
12 人形劇場へごしょうたい	サリー・ガードナー／作・絵 村上利佳／訳
<p>公園でくらす、人形たちのリーダーでしっかり者のブーラーがあやつり人形の一座にたのまれて、人形劇の代役をつとめることになりました。そのきらびやかな世界に心をうばわれ、スター女優に恋してしまうブーラー。公園のなかまたちが困っているのに少しも目に入りません。「公園の小さななかまたち」のシリーズ2巻目です。</p>	
偕成社	
933 ガ	
2010年 秋	

13	パディーの黄金のつぼ	ディック・キング＝スミス／作 三村美智子／訳
<p>誕生日の朝、ブリジットは古い長ぐつをはいてにんじん畑に行きました。すると、そこにいたのは年とった妖精パディー。パディーにめぐり会うためには、4つの事がそろわなくてはなりません。アイルランドに住む、ひとりっ子で、誕生日で、長ぐつにあなが1つあいていること。アイルランドの言い伝えをもとにした、ふしぎなお話です。</p>		<p>岩波書店</p> <p>933 キ</p> <p>2007年 秋</p>
14	火のくつと風のサンダル	ウルズラ＝ウェルフェル／作 関楠生／訳
<p>くつ屋のチムは、学校で一番のちびででぶ。いつもともだちにからかわれて、「ぼくはぼくなのがいやになった。」と言いました。すると、おとうさんは、夏休みにふたりだけでたびにでようとさそいました。チムは“火のくつ”、おとうさんは“風のサンダル”をはいて、すてきなたびがはじまります。</p>		<p>学研／童話館出版</p> <p>943 ウ</p> <p>2009年 夏</p>
15	百まいのドレス	エレナー・エスティス／作 石井桃子／訳 ルイス・スロボドキン／絵
<p>まずしいワンダは、いつもしわだらけの青いワンピースを着ています。「百まいのドレスをもっているの。」と言っても、みんなは信じてくれません。クラスで人気者のペギーたちは、いつもワンダをからかいます。マデラインはそれがよくないことだと思いながらも、なにも言えませんでした。ワンダは本当に百まいのドレスを持っているのでしょうか？</p>		<p>岩波書店</p> <p>933 エ</p> <p>2007年 春</p>
16	ぺちゃんこスタンレー	ジェフ・ブラウン／文 トミー・ウンゲラー／絵 さくまゆみこ／訳
<p>朝起きたら、からだがぺちゃんこになってるなんて信じられる？ かわいそうにスタンレーは、ぶあつい板の下じきになって、身長122センチ 横はば30センチ 厚さ1.3センチになってしまいました。スタンレーは、これからどうになってしまうのでしょうか？</p>		<p>あすなろ書房</p> <p>933 ブ</p> <p>2007年 秋</p>

<よみもの>

17 ほらふき男爵の冒険	G.A.ビュルガー／編 斉藤洋／文 はたこうしろう／絵
わたしはミュンヒハウゼン男爵だ！世の中には、わたしのことを“ほらふき男爵”などとよぶ、ぶれいなやつがいる。まあ、それは、わたしの冒険のかずかずがあまりにふしぎでおもしろいから、なかなかしんじられないということなのだろう。どれ、きみたちにも話してやろう。「ほんとう？」なんて口をはさまんでくれよ。世の中奇想天外なことがおこるものなのだ！	
偕成社	
943 ビ	
2007年 冬	
18 ゆかいなホームーくん	マックロスキー／作 石井桃子／訳
ホームーくんは、とっても器用でラジオの組み立てもできるんです。ある日ホームーくんは、ユリシスおじさんの食堂にある自動ドーナツ製造機の手入れをまかされました。準備OK！ドーナツを作り始めるとさぁ大変、次から次へとドーナツが出てきて止まりません。ホームーくんのゆかいなゆかいなお話です。	
岩波書店	
933 マ	
2008年 春	
19 ワニてんやわんや	ロレンス・イエップ／作 ないとうふみこ／訳 ワタナベユウコ／絵
テディの弟は、いつもおりこうさんでみんなのにんきもの。テディはそれがおもしろくない。そこでテディはびっくりさせてやろうと、弟の8さいのたんじょうびに、ワニの赤ちゃんをプレゼント。ところが弟は、およろこび。テディはいっしょにえさ集めまですることになってしまった。こんなはずじゃなかったのに・・・。	
徳間書店	
933 イ	
2009年 秋	
20 ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ	ディック・キング＝スミス／作 三原泉／訳 いとうひろし／絵
ワビシーネ農場のスカンピンさんは、びんぼうでとても運のわるい人です。ブタはブタコレラにかかるし、ニワトリはキツネに食べられてしまうし・・・のこったのはシヨンポリとガックリという2わのガチョウだけ。ところがある日、ガックリが生んだ金のたまごから、金いろのひながうまれました。名前は「ウレシーナ」。実はウレシーナには、ふしぎなちからがあったのです。	
あすなろ書房	
933 キ	
2008年 春	

★よみもの…し・ことば★

1	あいうえおにぎり	ねじめ正一／作 いろうひろし／絵
<p>あいうえおにぎり ペろっとたべて かきくけころっけ あつあつたべて・・・わいうえおもちはどうたべる？ 本をひらいてじっくり絵をみてさがしてみてね。これは詩の絵本なので声に出して読んでみるとたのしいよ。 もんくたらたら たらいにいれて ごしごしごしごし あらったら・・・どうなったと思う？</p>		<p>偕成社 911 ネ 2008年 冬</p>
2	幼い子の詩集 パタポン	山田 和雄／編
<p>“ぱたぽん”というのは「まりーちゃんとひつじ」という絵本にでてくるひつじの名前です。まるで「おまじない」みたいでしょう？だから、「ぱたぽん ぱたぽん・・・」ってとなえたらせかいじゅうから詩があつまってきました。詩はみなさんの声によってこの本からとびだすのを待っています。ぜひ、声に出して読んであげてね！</p>		<p>童話屋 911 夕 2009年 夏</p>
3	てんぷらぴりぴり	まど・みちお
<p>「ほらおかあさんが ことしもまた てんぷら ぴりぴり あげだした・・・ 秋のにおいの シソの実の 小さな かわいい つぶつぶの てんぷら ぴりぴり あげだした」 秋、空が高くなったら この本を読んでみよう。夕方、いちばん星を みつけたら、この本の詩を声にだしてみよう。秋は じぶんの声がとても美しくひびく季節だから。</p>		<p>大日本図書 911 マ 2009年 秋</p>
4	ほんところた へんてこうた	阪田 寛夫／詩
<p>おじいちゃんのあたまでさんすうができるよ。「おじいちゃんのあたまにけが3ぼん。おじいちゃんのおごにはひげせんぼん。おじいちゃんのおたまにけはなんぼん？せんたす3ぼん せん3ぼん」。まさしくんの『ほんところた』とおじいちゃんの『へんてこうた』。楽しいことばがあそんでいるよ。</p>		<p>大日本図書 911 サ 2008年 夏</p>

★よみもの…ちしきのほん★

1	イヌのいいぶんネコのいいわけ ーイヌとネコにともだちになってもらう本ー 植木裕幸＋福田豊文／写真 なかのひろみ／文 野矢雅彦／協力	
あれっ、この本どっちが前？「イヌのいいぶん」を真ん中まで読んで、今度は後ろから読むと「ネコのいいわけ」が始まります。みなさんは、イヌ語やネコ語がわかりますか？外国語を勉強するよりかんたんで、今日からさっそく役にたつよ。 かわいいイヌとネコの写真がいっぱいです。獣医さんの相談コーナーもあるから、飼っている人にも、これから飼いたい人にもおすすめです！		福音館書店 64 ナ 2011年 夏
2	ウミウシ 中野理枝／文 豊田直之／写真	
ウミウシみたことある？海の砂はまや岩にへばりついてる生きものだよ。ウミウシは色も形もいろいろ。巻き貝のなかまだけれど、貝がらはなくてはだかのまま。でも、へいきなんだ。敵に食べられない方法をいっぱい知ってるからね。それでも食べられてしまうこともある。何に食べられると思う？知りたくなったらこの本を開いてみてね。		福音館書店 48 ナ 2011年 夏
3	うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ 皆越ようせい／写真・文	
海にダンゴムシがいるって知っていましたか？皆越ようせいさんはある日ハマダンゴムシというダンゴムシがいることを知り、ハマは浜だと思いました。そこで、日本のあちこちの海岸をさがしまわり、やっと「うみのダンゴムシ」を見つけました。では「やまのダンゴムシ」ってどんなダンゴムシだと思いますか？びっくりすることがわかりますよ。		岩崎書店 48 ミ 2010年 夏
4	うめぼし 石橋 國男／指導 辰巳 芳子／料理 山本 明義／撮影	
2月、うめの木に花がさきました。もうすぐ春です。花のあとに小さな実がつき、それがだんだん大きくなって、梅雨のはじめにつみとります。さあ、うめぼしを作りましょう。ころころしおをまぶしてようきにいれ、おもしろをします。梅雨があけたら、お日様に干します。そして…うめぼしがだいすきになりそうな写真絵本です。おうちの人と読むのもおすすめです。		フレーベル館 59 フ 2011年 春

5 絵くんとことばくん	天野祐吉くん／作 大槻あかねくん／絵
<p>ぼくは優太、「おこづかいが少ない！」と思っている小学四年生。そこでポスターを作って、お母さんにおこづかいの値上げをうたえることにした。 その時、ぼくの頭の中で声がしたんだ。絵くんとことばくんだ。おこづかいアップ大作戦の始まりだよ！</p>	福音館書店
	72 ア
	2007年 春
6 キツネ 北国からの動物記	竹田津実／文・写真
<p>林の斜面に穴が7こならんでいます。持ち主は雌ギツネのトウです。獣医師で写真家の竹田津さんが巣穴の近くで一年間観察した写真絵本です。トウの恋人さがし、結婚、出産、子育て、お父さんと遊ぶ子ギツネたち。どのページをひらいても、こどもたちのかわいらしさにわくわくさせられます。けれどもやがて「子別れ」の時がきて…。</p>	アリス館
	48 タ
	2011年 冬
7 草と木で包む	U. G. サトー／文と絵 後藤九・酒井道一／写真
<p>私たちの祖先は草や木を使って、食べるものを包む工夫をしてきました。自然の姿をそのまま生かしたのもあれば、ちょっと手を加えて、編んだり、組んだりして包むものもあります。今ではプラスチック容器に入っていることの多い卵も、昔はこんなふうに包まれていました。とても美しいでしょう。でも、それだけではないのです……。</p>	福音館書店
	38 ヌ
	2008年 春
8 クヌート ちいさなシロクマ	ジュリアナ・ハトコフ／イザベラ・ハトコフ／ クレイグ・ハトコフ／ゲラルド・R・ウーリヒ／著 羽田詩津子／訳
<p>ドイツのベルリン動物園にシロクマの赤ちゃんが誕生しました。母グマが赤ちゃんの世話をしなかったので飼育係のトーマスが育てることになりました。名前はクヌート。このちいさなシロクマは、まもなく世界中の人々から愛され、そして、人々に大切なことを気づかせてくれたのです。</p>	日本放送出版協会
	48 ハ
	2008年 夏

<よみもの>

9	<p>こんなふうには作られる！ 身のまわり69品のできるまで</p>	<p>ビル&ジム・スレイヴィン／文 ビル・スレイヴィン／絵 福本 友美子／訳</p>
<p>CDは、砂から作るって知ってる？ガムのもとには木からとれるんだよ。毎日つかっている物のこと、実はあまりよく知らないよね？この本ではみんながよく使う品物のことを見開き2ページで教えてくれる。サッカーボールにビー玉にぬいぐるみ……。パンにコーラにチョコレート……。さあ、この本で身のまわりのナゾをとき明かそう！</p>		<p>玉川大学出版部 50 ス 2009年 冬</p>
10	<p>大根はエライ</p>	<p>久住昌之／文・絵</p>
<p>大根おろし、大根サラダ、ふろふき大根、たくあん、とん汁…大根はいろいろな料理に使われる。お店に並び野菜の中では、生産量が日本一。人気・実力ともにナンバーワンの野菜だ。それなのにちっともエライそうに見えないのはなぜ？</p>		<p>福音館書店 雑誌 2007年 冬</p>
11	<p>地下鉄のできるまで</p>	<p>加古里子／さく</p>
<p>大きな道路やビルがたちならぶ地面の下を走っている地下鉄。でも、どうやって道路やビルをこわさないであなをほるんだらう、電車はどこから入れるのかなって思ったことはない？そう思ったら、この本を開いてごらん。ちょうど地下鉄工事が始まったところだから！</p>		<p>福音館書店 51 ミ 2008年 秋</p>
12	<p>できたぜ！かくれ家</p>	<p>プチ／文 杉田徹／写真 後藤一磨／指導</p>
<p>ぼくは犬のプチ。ある日、ぼくのご主人と4年生の、ケント、タケちゃん、アッキー、タスクの4人組が裏山のひみつの空き地に何か作りはじめた。まわりに生えている草や木だけを使って、道具はナイフや鎌やのこぎり。4人組は道具の使い方を習い、穴を掘って柱を立てている。草の束で屋根をふいて……。いったい、何ができるんだ？</p>		<p>福音館書店 雑誌 2009年 夏</p>

13	どうくつをたんけんする	堀内誠一／さく
<p>「どうくつをたんけんにきませんか？」という手紙をもらったぼくは、さっそくヘルメットをかぶり、地下たびをはいて、研究所の先生といっしょにどうくつたんけんにでかけた。どうくつは、まっくらな、地球のあな。中はどうなっているのだろうか？中になにかいるのだろうか？どうしてこんなものができたのだろうか？</p>		福音館書店
		45 ホ
		2007年 夏
14	<p>鳥のくちばし図鑑 たべる・はこぶ・つくる (ちしきのぽけっと4)</p>	国松俊英／文 水谷高英／絵
<p>鳥のくちばしは、えさをとったり、巣をつくったりするためになく てはならないものです。サギはモリのようにとがたくちばしで、 つきさして魚をつかまえます。カワセミは、くちばしを「手」のよ うに使う穴をほり巣をつくります。鳥の種類によって、くちばし はそれぞれちがいます。さまざまなくちばしを、じょうずに使って 生きている鳥の絵本図鑑です。</p>		岩崎書店
		48 ク
		2007年 秋
15	野遊びを楽しむ 里山百年図鑑	松岡達英／作
<p>山や森、田んぼや川、浜べなど、わたしたちの身近にある自然を里 山といいます。 春・夏・秋・冬きせつによっていろいろな草花や生き物に出いま す。山菜やきのこをとったり、虫や魚をつかまえたり…あなたも里 山の自然を楽しんでみませんか。</p>		小学館
		40 マ
		2010年 春
16	ひがんばんな	甲斐信枝／さく
<p>ひがんばんなって知っていますか？はっぱもださず、いきなりまっ赤 な花火のような花をさかせます。秋のおひがんのころ もえあがる ようにさくひがんばんなに、人々はたくさん名前をつけました。ま んじゅしゃげ、きつねのかんざし、ひぐるま、どくばな、はなびば な・・・ひがんばんなはとてもふしぎな植物なのです。</p>		福音館書店
		47 フ
		2008年 秋

17 ふたり★おなじ星のうえで	谷川俊太郎／文 谷本美加／写真 塚本やすし／絵
<p>ラマデビ、9さい？春佳、9さい。 ラマデビの家には水道がないので、朝5時におきて水をくみにいく。春佳のマンションではどう？ ラマデビのいちばんたいせつなものは、たべもの。春佳のたからものは何？この本は、左側にラマデビ、右側に春佳についてえがきながら、ふたり★おなじ星のうえで生きる、インドと日本の少女の今をみつめます。</p>	東京書籍
	30 タ
	2009年 夏
18 メダカ	写真／草野慎二・栗林慧 総合監修／日高敏隆
<p>みなさん、メダカはアジアにだけすむ魚だと知っていましたか？メダカは、田んぼのあるところをすみかにしてきたからです。春、水が温かくなると、メダカたちは動き出します。目よりも上についている口。すきとおるような美しい卵。海に流されたメダカ。小さな体で何百万年も生きのびてきたメダカのふしぎが、いっぱいつまった1冊です。</p>	リブリオ出版
	48 リ
	2009年 春
19 りんご 津軽りんご園の1年間	叶内拓哉
<p>おいしく甘ずっぱいりんごが、どのように育っていくか知っていますか。りんご農家の1年間を美しい写真でまとめた絵本です。春にきれいな花をつけたりんごの木は、たくさん手をかけてもらって秋には大きな実をつけます。りんご農家の人の一番うれしい時です。すずなりの赤い実は手をのばしてもぎとりたくなります。</p>	福音館書店
	62 カ
	2007年 春



おもしろそう！読んでみたい！続きが気になる！

でも待って・・・

★ここに載っている本はどこにあるの？

茅ヶ崎市立図書館にあります。

インターネットや検索機で本の場所が確認できます。

貸出中などで本がないときは予約ができます。

わからないことがあったら、おたずねください。

★検索したけど、本の場所がわからない。
請求記号って何？

請求記号とは、本の種類ごとに決まっている番号のことで0～9門に別れています。例えば、料理は5門、小説は9門となりますがそれぞれの門のなかでさらに細かい分類があります。

詳しくは「日本十進分類法」に書いてあります。

図書館では、請求記号で本がまとまっています。

★本棚を探したけど、見つけれられない・・・

誰かが読んでいたり、貸出中の本や地下にある本かもしれません。

調べますので、図書館職員におたずねください。



索引（五十音順）

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
あ	あいうえおにぎり	25	911 ネ	2008年冬号
	ありのフェルダ	20	989 セ	2009年夏号
	いえででんしゃ	16	913 ア	2011年冬号
	1ねん1くみの1にち	10	E	2011年春号
	イヌのいいぶんネコのいいわけ	26	64 ナ	2011年夏号
	ウミウシ	26	48 ナ	2011年夏号
	うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ	26	48 ミ	2010年夏号
	海をかえして！	10	E	2007年夏号
	うめぼし	26	59 フ	2011年春号
	絵くんとことばくん	27	72 ア	2007年春号
	おうさまとかじや	3	E	2011年夏号
	おすのつぼにすんでいたおばあさん	20	933 ゴ	2011年夏号
	おたよりください	20	949 ス	2010年冬号
	おっと合点承知之助	8	E	2007年夏号
	お手紙レッスン	20	933 ル	2007年冬号
	お父さんのラッパばなし	16	913 セ	2011年秋号
	か	かあさんのいす	3	E
がぶりもぐもぐ！		10	E	2009年秋号
かりんちゃんと十五人のおひなさま		16	913 ナ	2010年春号
木		3	E	2008年春号
キツネ 北国からの動物記		27	48 タ	2011年冬号
きつねにようぼう		1	E	2007年秋号
きつねものがたり		21	989 ラ	2010年秋号
気むずかしやの伯爵夫人		21	933 ガ	2008年夏号
キロコちゃんとみどりのくつ		16	913 タ	2009年冬号
草と木で包む		27	38 ュ	2008年春号
クヌート ちいさなシロクマ		27	48 ハ	2008年夏号
グラタンおばあさんとまほうのアヒル		17	913 ア	2011年冬号
クリスマスのおはなし		3	E	2008年冬号
黒ねこのおきやくさま		21	933 エ	2009年冬号
ケイゾウさんは四月がきらいです。		17	913 イ	2007年春号
こうしはそりにのって		4	E	2009年冬号
皇帝にもらった花のたね		4	E	2011年春号
ことわざのえほん	8	E	2010年冬号	
ゴハおじさんのゆかいなお話	14	929 ジ	2010年夏号	
さ	さとうねずみのケーキ	4	E	2008年春号
	しあわせの石のスープ	1	E	2007年冬号

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
	しずくの首飾り	21	933 エ	2010年夏号
	シモンのおとしもの	4	E	2011年秋号
	シャーロットのおくりもの	22	933 ホ	2008年夏号
	白いりゆう 黒いりゆう	14	923 チ	2011年冬号
	スウェーデンの森の昔話	14	949 ス	2009年冬号
	せんをたどって せかいいっしゅう	10	E	2009年春号
	続ことわざのえほん	8	E	2010年冬号
	空とぶじゅうたん	5	E	2009年夏号
	ソルビム -お正月の晴れ着-	11	E	2008年冬号
	そんなこともあるかもね	5	E	2009年秋号
た	大根はエライ	28	雑誌	2007年冬号
	だいすきなもの	11	E	2011年夏号
	タイムチケット	17	913 フ	2011年春号
	タツノオトシゴ	11	E	2010年秋号
	楽しいスケート遠足	22	933 フ	2010年冬号
	小さな山神スズナ姫	17	913 ト	2011年秋号
	地下鉄のできるまで	28	51 ミ	2008年秋号
	チャンティクリアときつね	5	E	2007年秋号
	ディック・ウィットントンとねこ	1	E	2008年夏号
	できたぜ！かくれ家	28	雑誌	2009年夏号
	てんぷらぴりぴり	25	911 マ	2009年秋号
	どうくつをたんけんする	29	45 ホ	2007年夏号
	鳥のくちばし図鑑	29	48 ク	2007年秋号
	ドングリ山のやまんばあさん	18	913 ト	2008年秋号
	トンボソのおひめさま	14	933 バ	2010年秋号
な	夏のとっぺん	18	913 ヨ	2010年夏号
	なまけ者の王さまとかしこい王女のお話	22	943 コ	2009年春号
	日本の風景 松	11	E	2008年冬号
	人形劇場へごしょうたい	22	933 ガ	2010年秋号
	野遊びを楽しむ 里山百年図鑑	29	40 マ	2010年春号
	野うさぎのフルー	5	E	2011年春号
	野をわたる風にのる 植物のたび	12	E	2007年春号
は	パイがいっぱい	8	E	2008年秋号
	パタポン-幼い子の詩集	25	911 タ	2009年夏号
	パディーの黄金のつぼ	23	933 キ	2007年秋号
	花仙人	15	923 ハ	2010年春号
	はなのすきなうし	6	E	2009年春号
	ひがんばな	29	47 フ	2008年秋号
	1つぶのおこめ	1	E	2010年秋号
	火のくつと風のサンダル	23	943 ウ	2009年夏号

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
	百まいのドレス	23	933 エ	2007年春号
	ピョンとオバケン	18	913 ヤ	2007年夏号
	ふたり★おなじ星のうえで	30	30 タ	2009年夏号
	古道具ほんなら堂～ちょっと不思議あり～	18	913 ク	2009年秋号
	ヘイスタック	12	E	2009年秋号
	ぺちゃんコスタンレー	23	933 ブ	2007年秋号
	ポインセチアはまほうの花	6	E	2011年冬号
	放課後の時間割	19	913 オ	2008年冬号
	干し柿	12	E	2011年秋号
	ほしになったりゅうのきば	2	E	2007年夏号
	ほらふき男爵の冒険	24	943 ビ	2007年冬号
	ほんとうた へんてこうた	25	911 サ	2008年夏号
ま	まあ、なんてこと！	6	E	2008年秋号
	またたびトラベル	19	913 モ	2010年春号
	町の水族館 町の植物園	12	E	2011年秋号
	まどさんとさかたさんのことばあそび	8	E	2010年春号
	魔法のことば	9	E	2010年夏号
	身のまわり69品のできるまで	28	50 ス	2009年冬号
	ムースの大だいこ	7	E	2010年冬号
	むこうがわのあのこ	6	E	2011年夏号
	メダカ	30	48 リ	2009年春号
や	ゆかいなホームーくん	24	933 マ	2008年春号
	雪の結晶ノート	13	E	2010年冬号
ら	りすのパナシ	7	E	2010年春号
	りんご 津軽りんご園の1年間	30	62 カ	2007年春号
わ	ワニてんやわんや	24	933 イ	2009年秋号
	わにのスワニー しまぶくろさんとあそぶの巻	7	E	2009年春号
	ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ	24	933 キ	2008年春号

索引 (季節別)

春

★えほん★

○ ものがたり	ページ	請求記号
木	3	E
皇帝にもらった花のたね	4	E
さとうねずみのケーキ	4	E
野うさぎのフルー	5	E
はなのすきなうし	6	E
りすのパナシ	7	E
わにのスワニーしまぶくろさんとあそぶの巻	7	E
○ し・ことば		
まどさんとさかたさんのことばあそび	8	E
○ ちしきのほん		
1ねん1くみの1にち	10	E
せんをたどって せかいいっしゅう	10	E
野をわたる風にのる 植物のたび	12	E

★よみもの★

○ むかしぼなし		
花仙人	15	923 ハ
○ ものがたり (にほん)		
かりんちゃんと十五人のおひなさま	16	913 ナ
ケイゾウさんは四月がきらいです。	17	913 イ
タイムチケット	17	913 フ
またたびトラベル	19	913 モ
○ ものがたり (がいこく)		
なまけ者の王さまとかしい王女のお話	22	943 口
百まいのドレス	23	933 エ
ゆかいなホームーくん	24	933 マ
ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ	24	933 キ
○ ちしきのほん		
うめぼし	26	59 フ
絵くんとことばくん	27	72 ア
草と木で包む	27	38 ユ
野遊びを楽しむ 里山百年図鑑	29	40 マ
メダカ	30	48 リ
りんご 津軽りんご園の1年間	30	62 カ

夏

★えほん★

○ むかしぼなし	ページ	請求記号
ディック・ウィットイントンとねこ	1	E
ほしになつたりゅうのきば	2	E
○ ものがたり		
おうさまとかじや	3	E
空とぶじゅうたん	5	E
むこうがわのあのこ	6	E
○ し・ことば		
おっと合点承知之助	8	E
魔法のことば	9	E
○ ちしきのほん		
海をかえして!	10	E
だいすきなもの	11	E

★よみもの★

○ むかしぼなし		
ゴハおじさんのゆかいなお話	14	929 ジ
○ ものがたり (にほん)		
夏のとっぺん	18	913 ヨ
ピョンとオバケン	18	913 ヤ
○ ものがたり (がいこく)		
ありのフェルダ	20	989 セ
おすのつぼにすんでいたおばあさん	20	933 ゴ
気むずかしやの伯爵夫人	21	933 ガ
しずくの首飾り	21	933 エ
シャーロットのおくりもの	22	933 ホ
火のくつと風のサンダル	22	943 ウ
○ し・ことば		
パタポン-幼い子の詩集	25	911 タ
ほんところた へんてこうた	25	911 サ
○ ちしきのほん		
イヌのいいぶんネコのいいわけ	26	64 ナ
ウミウシ	26	48 ナ
うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ	26	48 ミ
クヌート ちいさなシロクマ	27	48 ハ
どうくつをたんけんする	29	45 ホ
できたぜ! かくれ家	28	雑誌
ふたり★おなじ星のうえで	30	30 タ

索引 (季節別)

秋

★えほん★

○		ページ	請求記号
○	むかしぼなし		
	きつねにようぼう	1	E
	1つぶのおこめ	1	E
○	ものがたり		
	シモンのおとしもの	4	E
	そんなこともあるかもね	5	E
	チャンティクリアときつね	5	E
	まあ、なんてこと!	6	E
○	し・ことば		
	パイがいっぱい	8	E
○	ちしきのほん		
	がぶりもぐもぐ!	10	E
	タツノオトシゴ	11	E
	ヘイスタック	12	E
	干し柿	12	E
	町の水族館 町の植物園	12	E

★よみもの★

○	むかしぼなし		
	トンボソのおひめさま	14	933 バ
○	ものがたり (にほん)		
	お父さんのラツパばなし	16	913 セ
	小さな山神スズナ姫	17	913 ト
	ドングリ山のやまんばあさん	18	913 ト
	古道具ほんなら堂 ~ちょっと不思議あり~	18	913 ク
○	ものがたり (がいこく)		
	きつねものがたり	21	989 ラ
	人形劇場へごしょうたい	22	933 ガ
	パディーの黄金のつぼ	23	933 キ
	ぺちゃんコスタンレー	23	933 ブ
	ワニてんやわんや	24	933 イ
○	し・ことば		
	てんぷらぴりぴり	25	911 マ
○	ちしきのほん		
	地下鉄のできるまで	28	51 ミ
	鳥のくちばし図鑑	29	48 ク
	ひがんばな	29	47 フ

冬

★えほん★

○		ページ	請求記号
○	むかしぼなし		
	しあわせの石のスープ	1	E
○	ものがたり		
	かあさんのいす	3	E
	クリスマスのおはなし	3	E
	こうしはそりにのって	4	E
	ポインセチアはまほうの花	6	E
	ムースの大だいこ	7	E
○	し・ことば		
	ことわざのえほん	8	E
	続ことわざのえほん	8	E
○	ちしきのほん		
	ソルビム -お正月の晴れ着-	11	E
	日本の風景 松	11	E
	雪の結晶ノート	13	E

★よみもの★

○	むかしぼなし		
	白いりゆう 黒いりゆう	14	923 チ
	スウェーデンの森の昔話	14	949 ス
○	ものがたり (にほん)		
	いえででんしゃ	16	913 ア
	キロコちゃんとみどりのくつ	16	913 タ
	グラタンおばあさんとまほうのアヒル	17	913 ア
	放課後の時間割	19	913 オ
○	ものがたり (がいこく)		
	おたよりください	20	949 ス
	お手紙レッスン	20	933 ル
	黒ねこのおきゃくさま	21	933 エ
	楽しいスケート遠足	22	933 フ
	ほらふき男爵の冒険	24	943 ビ
○	し・ことば		
	あいうえおにぎり	25	911 ネ
○	ちしきのほん		
	大根はエライ	28	雑誌
	キツネ 北国からの動物記	27	48 タ
	身のまわり69品のできるまで	28	50 ス

よんでネット <小学3・4年生>

NO. 22～NO. 41

平成27年（2015年）3月発行

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会／編

編集・発行／茅ヶ崎市立図書館

〒253-0053

茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番55号

電話 0467（87）1001（代）

FAX 0467（85）8275

ホームページ <http://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/>

メールアドレス library@city.chigasaki.kanagawa.jp

